

# 2010年1月



伊達市長 菊谷 秀吉

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

国の内外を問わず、経済情勢は混迷を深め、地方自治を取り巻く環境も、さらに厳しくなると推測しております。

幸い、本市は市民の皆さまのご理解の下、堅調な財政運営をまいりました。

そのような中で昨年、これまでの伊達のまちづくりをふまえ、「自然を育み 未来に向かって挑戦する 人にやさしいまち」を将来像に、市民と行政が一体となって自治体経営の基礎を築き、持続的に発展していくための計画として、「第六次伊達市総合計画」を策定しました。迎えます本年は、「第六次伊達市総合計画」の2年目にあたり、当計画を着実に進めていく決意のもと、市民の皆さまと力を合わせ、活力ある地域社会の構築をめざしてまいります。

安心・安全な  
まちづくりを

本年は、いよいよ総合体育館の建設に着手します。有珠山噴火災害の教訓を生かした安全・安心して暮らせるまち、災害に強いまちづくりが求められている中で、総合体育館と屋内プールを中核施設とする「防災公園だて歴史の杜整備事業」として、整備を進めてまいります。この施設は、防災機能に加えて、市民スポーツ活動などの生涯学習、健康づくりや交流の場などの複合的な役割を担うことから、環境に優しいペレットボイラーの導入などにより、地域に根ざした質の高い拠点施設として整備していきたいと考えています。

今後とも、市民の皆さまに愛情と誇りを持っていただけるまちにいくため、職員一丸となり各施策の実現に努めてまいりますので、昨年に引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しく迎えた本年が夢と希望に満ちた実りある年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

# 新年のごあいさつ



伊達市議会議長 大光 巖

明けましておめでとございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた平成22年の新春を健やかに迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、日本国民が戦後初めて政権交代を選択した年でありました。多くの国民は新政権が進める改革に戸惑いつつも、新政権に対し我が国を覆う経済の閉鎖的状況を打ち破ってくれるのではと期待して見守っているところだと思えます。

市政におきましても、新政権公約に影響されるであろう多くの施策について、適切に対応しなければならぬ責務がありますし、国と地方の関係は今後どのようなようになっていくのか、注意深く見守りながら、これからの政策が本当の意味での地方分権につながっていくことに期待しているところであります。

また、これから一層強まるであろう地方

開かれた  
議会をめざして

分権の進展に伴い、地方自治体の自己決定、自己責任というものが求められる中で、市民生活に直結した市議会の果たす役割と責任は、ますます増大すると思います。市民の皆さまから直接選挙で選ばれ、二元代表制を担う議会として、市政への監視機能を強化するとともに、政策立案能力を向上させ、民意を的確に反映した市政の実現に努めていかなければならないと考えております。

今後とも市民の皆さまの負託に応えるべく、議員一丸となって積極的な議員活動を展開し、議会機能の充実強化を図るとともに、今まで以上に議会の活性化に努めていく所存でありますので、今後とも皆さまには一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年も市民の皆さまにとって素晴らしい年になりますよう、益々のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。